



No.144

平成26年3月7日

議会広報

いえそん



2013.12.12

▲平成25年12月定例議会を傍聴した伊江中学校3年生の皆さん

- 一般質問…………… 2 ●視察研修…………… 8
- 議決結果…………… 7 ●議会の活動…………… 10

議会広報
いえそん No.144発行／伊江村議会
〒905-0592 沖縄県伊江村字東江前38
TEL:0980-49-2924
編集・印刷／(有)サンエス
TEL:098-889-7421

議会の活動

平成25年12月

- 1日：第33回子ども会発表会(副議長)
東村村政90周年記念式典(議長)
- 3日：北部議長会理事会(議長)
JA園芸生産組合総会(副議長)
- 5日：議会運営委員会(議会運営委員、議長)
議会広報特別委員会(議会広報特別委員)
民俗芸能40周年記念事業式典・祝宴(全議)
- 8日：イージマ郷友会創立30周年記念式典(全議)
- 9日：黒糖工場火入れ式(議長)
- 10日：たばご振興会詩総会(議長)
- 12日：12月定期議会(13日まで)
- 22日：第2回ハイビスカップ小中学生ゴルフ大会(議長)

平成26年1月

- 4日：成人式(全議)、新年交歓会(全議)
- 6日：消防出初め式(全議)
- 9日：JAおきなわ新春の集い(副議長)
- 11日：第12回少年野球伊江島交流大会(議長)
- 14日：議会運営委員会(議会運営委員、議長)
海外子弟研修生歓迎会(議長・副議長)
- 15日：初セリ市(全議)
国・県の出先機関との新年会(議長・副議長)

平成26年2月

- 2日：西小学校・幼稚園学芸会(議長、西小校区議員)
- 8日：チューパンジャ祭り2014(全議)
平成26年第7回日本ハイビスカス協会総会(議長)
- 10日：第3回伊江島スマートアイランド事業計画検討委員会(議長)
- 14日：那覇空港国際線新ターミナル落成式(議長)
- 15日：伊江村学力向上推進実践報告会(全議)
- 18日：町村議長会定期総会(議長)
- 19日：離島議長会定期総会(議長)
離島振興市町村議会議員・事務局研修会(全議)
- 20日：町村議長会議員・事務局研修会(全議)
- 26日：第4次伊江村行政改革推進委員会(議長・総務常任委員長)
- 28日：金武町ふるさとづくり整備事業落成式(議長)
広報特別委員会(広報特別委員)

26日：北部広域臨時会(議長)



▲子ども会発表会フィナーレ



▲初セリ市



▲新年交歓会

**どうぞ
傍聴席へ**

傍聴を希望される方は、お気軽に議会事務局までお問い合わせください。

TEL 0980-49-2924(直通)

**伊江村議会HPで
最新情報を！**

この紙面に掲載された一般質問や質疑応答の内容は、会議録に基づいて一部を要約したものです。
さらに詳しく知りたい方は、各区公民館、中央公民館、村議会HPで会議録をご覧ください。

<http://www.iejima.org/iegikai/>
(伊江村のホームページからもアクセスできます。)



(10)

村政の12月定例会 一般質問

このを組み

内間 広樹
議員

肉間廣樹議員

問 基本計画の中は伊江村次世代育成支援行動計画ニーズ調査が実施され、中学生の32.8%が何からの悩みを抱え、42.1%の生徒が相談できる機関を知らない状況があるが次の2点について伺いたい。

①伊江村次世代育成支援行動計画ニーズ調査は継続されているか

②高校進学後の生徒が安心して相談、支援も含めてできるサポート体制の整備ができるいか。

答 1点目、平成21年度に作成した「伊江村次世代育成後期計画」

も平成20年度が最終年度となり、新たに「子育て支援法」が平成27年度から施行される予定である。新制度施行に伴い今年度中に調査・分析を実施することになっている。

2点目、平成14年度から20年度にかけ、減少傾向だった退学率が再び上昇し、憂慮される事態にある。現在、離島高校生就学支援事業の保護者説明会において、学校ごとの保護者代表を決め、学校での様子や生活状況を把握できるよう情報交換を行い、保護者が

農林水産課長／単費で導入

問 沖縄振興特別交付金も次年度で3年目になる。次年度へ向けどんな団体から幾つの事業要望があるか。また、次年度より義務化になる事業者の簿記記帳に関する農業簿記ソフトの購入費助成ができないか。

答 1点目、5団体から7事業の要望がある。平成26年度の事業構築に向けて、沖縄県市町村課と事務調整を進めているところである。効率的で効果的な事業展開

抱える悩みに村の教育相談員と相談できる体制を確立したいと考えている。さらに問題点や課題解決について学校と連携を強め、学校に対し夏休み期間での家庭訪問実施の依頼をしていきたい。

あげる村独自のサポート体制をできなか再度お伺いしたい。

問 現在、座間味村の方で生活支援員が設置され2名ほどいるようである。実際、どういう中身で支援されてどの程度の頻度があるか調査をして今後参考にしていきたい。

答 高校進学後、約50%が部活をしている。中には無理して練習し悪化した時点で病院に行くと通院が必要になる時も

ある。なかなか毎週付添つていくこともできな
い為、そんな時に支援制度
があれば、精神的・肉体的
負担を軽減することもで
きると思うが、座間味村の
ように早いうちにサポー
ト体制を築けないか。

村長／高校に進学した皆さんに卒業式で、教育委員会と連携し一生懸念

素できるように
取り組んでいきたい

農林水産課長／単費で導入

問 沖縄振興特別交付金も次年度で3年目になる。次年度へ向けどんな団体から幾つの事業要望があるか。また、次年度より義務化になる事業者の簿記記帳に関する農業簿記ソフトの購入費助成ができないか。

答 1点目、5団体から7事業の要望がある。平成26年度の事業構築に向けて、沖縄県市町村課と事務調整を進めているところである。効率的で効果的な事業展開

県にも働きかけができるよう取り組んでいきたい。2点目、記帳簿等保存の義務化は全国一律の改正であることから、沖縄振興特別推進交付金事業の採択要件である沖縄の特殊性に起因する事業との整合性、合致性等を考慮すると厳しい事案である。6月から農業経営簿記講習会を実施している。今後は農業経営の申告事務の簡素化を図るため、記帳説明会や個別記帳指導等実施していきたい。

して今後検討していくたい。
問 講習会を受講した
方に對して、農業
簿記ソフト購入の一部を
助成できなか。一括交
付金が厳しいのであれ
ば、別の事業でできな
いか。
答 農林水産課として
は、12月にパソコ
ンとソフトを導入し、今
後農家を指導していく予
定である。このソフトを
単費で導入できなかに
ついては県にも働きかけ
をし、今後検討していき
たい。



▲年々増加している民泊事業

観光ガイドの養成について

問 本村の畜産業をこの10年間の統計で

実施し、伊江島のブランゴ七三四れまい。

觀光大不列

養成について



▲増頭対策が課題の伊江島生

村政の12月定例会 一般質問

ここを問う！



1. 繁殖牛飼育頭数の減少対策について

農林水産課長／いろんな需要があるので十分協議し、新年度に向けて取り組む姿勢である

伊江村では未経産牛を含む登録母牛数が平成23年度をピークに減少が始まり、平成25年度7月現在で328頭。このままの推移でいけるかと危惧している。そこでお伺いしたい。

①伊江村において人口、家畜セリ市場開催回数の減少や、村の堆肥センターの運営にかかる問題に発展するのではないかと危惧している。そこ

②飼育頭数減少の認識と対策はどのように考えているか。

③堆肥センター運営維持をするための牛の飼育頭数は1点目、酪農成牛頭数114頭、肉用牛繁殖雌牛3,662頭で合計母牛飼養頭数は3,776頭となる。また、草地面積結果から粗飼料のみを給与した場合3,174頭である。

答 1点目、酪農成牛頭数は114頭、肉用牛繁殖雌牛3,662頭で合計母牛飼養頭数は3,776頭となる。また、草地面積結果から粗飼料のみを給与した場合3,174頭である。



名嘉 實 議員

1. 県選出の自民党国会議員5人と自民党県連が、米軍普天間飛行場の辺野古への移設を容認した問題について

村長／政治家の出処進退は政治家自らが判断し、決断すべきものだと考える

自民党の国会議員5人は選挙で掲げた「普天間飛行場の県外移設」の公約を撤回し、辺野古移設を容認する立場に転向した。自民党県連も、県民との公約を投げ捨て「普天間飛行場の県外移設」を容認する立場に切り換えた。自民党議会は、「辺野古沖移設が最も良い」と厳しく抗議し、普天対設を批判している。一方、那霸市議会は、「辺野古沖移設が最も良い」と厳しく抗議し、普天対設を批判している。一方、那

（2）米軍普天間基地を閉鎖・撤去し、県内移設を断念することを決めた。建設白書を携え、政府への直訴に参加した県内41市町村の一人であつた、前村長の後継者

（1）公約破棄した自民党国會議員や県会議員に対するマスコミの指摘について、どのように考

（2）米軍普天間基地を閉鎖・撤去を求める意見書」を全会一致（4議員退場）で採択した。そこでお伺いしたい。

障がい者等に対する車両航送料金助成方法の簡素化について

村長／公営企業課と連携しながら、簡素化に取り組みたい

伊江村では未経産牛を含む登録母牛数が平成23年度をピークに減少が始まり、平成25年度7月現在で328頭。このままの推移でいけるかと危惧している。そこでお伺いしたい。

①伊江村において人口、家畜セリ市場開催回数の減少や、村の堆肥センターの運営にかかる問題に発展するのではないかと危惧している。そこ

②飼育頭数減少の認識と対策はどのように考えているか。

③堆肥センター運営維持をするための牛の飼育頭数は1点目、酪農成牛頭数114頭、肉用牛繁殖雌牛3,662頭で合計母牛飼養頭数は3,776頭となる。また、草地面積結果から粗飼料のみを給与した場合3,174頭である。

者として、建白書の立場を堅持すべきと思うが、村長の考えを伺いたい。小橋川さんが、村長の考え方を伺いたい。

1点目、国会議員、県会議員が熟慮を重ねて決断されたものと推察されるので、政

員、県会議員が熟慮を重ねて決断されたものと推察されるので、政

員、県会議員が熟慮を重ねて決断されたものと

議決の結果

平成25年第7回定例会

| 議案番号 | 件 名 | 提案者 | 議決月日 | 議決結果 |
|--------|--|-----|--------|------|
| 議案第71号 | 平成25年度伊江村一般会計補正予算(第5号) | 村長 | 12月13日 | 原案可決 |
| 議案第72号 | 平成25年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算(第2号) | 村長 | 12月13日 | 原案可決 |
| 議案第73号 | 平成25年度伊江村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) | 村長 | 12月13日 | 原案可決 |
| 議案第74号 | 平成25年度伊江村水道事業会計補正予算(第1号) | 村長 | 12月13日 | 原案可決 |
| 議案第75号 | 伊江村長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の一部を改正する条例 | 村長 | 12月13日 | 原案可決 |
| 議案第76号 | 伊江村船舶運航事業条例の一部を改正する条例 | 村長 | 12月13日 | 原案可決 |
| 議案第77号 | 伊江村未買収道路用地取得基金の設置管理及び処分に関する条例 | 村長 | 12月13日 | 原案可決 |
| 議案第78号 | 人工透析診療施設新築工事(建築工事)請負契約の変更について | 村長 | 12月13日 | 原案可決 |
| 議案第79号 | 堆肥センタ一天日干場建築工事請負契約の変更について | 村長 | 12月13日 | 原案可決 |
| 議案第80号 | 伊江辺地に係る総合整備計画の策定について | 村長 | 12月13日 | 原案可決 |
| 議案第81号 | 伊江村地域の元気臨時交付金基金条例 | 村長 | 12月13日 | 原案可決 |
| 議案第82号 | 伊江村税条例の一部を改正する条例 | 村長 | 12月13日 | 原案可決 |
| 議案第83号 | 伊江村国民健康保険税条例の一部を改正する条例 | 村長 | 12月13日 | 原案可決 |
| 意見書第4号 | 道州制導入に断固反対する意見書(案) | 議員 | 12月13日 | 原案可決 |
| 決議書第3号 | 北部地域(やんばる)における基幹病院の創設に関する要請決議(案) | 議員 | 12月13日 | 原案可決 |
| 決議書第4号 | TPP交渉に関する要望決議(案) | 議員 | 12月13日 | 原案可決 |

議決の結果

平成26年第1回臨時会

| 議案番号 | 件 名 | 提案者 | 議決月日 | 議決結果 |
|-------|-------------------------------------|-----|-------|------|
| 議案第1号 | 伊江村特産品加工支援施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 | 村長 | 1月22日 | 原案可決 |
| 議案第2号 | 伊江村特産品加工支援施設の指定管理者の指定について | 村長 | 1月22日 | 原案可決 |
| 議案第3号 | 村づくり交付金事業伊江地区自走式木材破碎機購入契約について | 村長 | 1月22日 | 原案可決 |
| 議案第4号 | 村づくり交付金事業伊江地区油圧式ショベル購入契約について | 村長 | 1月22日 | 原案可決 |
| 議案第5号 | 西崎漁港第2沖防波堤改良工事請負契約について | 村長 | 1月22日 | 原案可決 |
| 議案第6号 | 村営東江前第1地区土地改良事業計画変更について | 村長 | 1月22日 | 原案可決 |

問 線 LANサービスの整備を急いでいると思うが、伊江村でも今後の観光の見地からも必要だと思う。進捗状況や今後の村当局の方向性について、伺いたい。

1. 伊江村のWi-Fi計画の進捗状況について

仲宗根 清夫 議員



3. 伊江村の一般及び産業廃棄物を含めた環境問題について

村長／小型焼却炉の検討や、倒壊した樹木等を裁断するチップの機械を導入する予定である

伊江村の表玄関である、はにくすには素晴らしい設計だが、動線の件でバリアフリー化を考える時期だと思う。今回、県の工事で多目的建築物の動線ができる。それと連携して、はにくすにホールまでの最短距離のバリアフリー化はできないか。また、海人食堂の利便性も含め喫煙ルームや

答 入口付近へのトイレ設置等を検討できないか。

今回の改修工事は、東パースへの観光客集会施設までの動線として、歩道上に雨や日差しを防ぐアーケードを設置する事業である。その動線間に施設を設置するより、既存の施設を利用するのが最短ルートだと考えている。また、喫煙

ルームの設置については、現在喫煙する場所を、はにくすにのトイレ近くに設置しておらず特に支障はないと思う。トイレについても多少不便なことは承知しているが、今ある機能を最大限に活用する方法で考えており、表玄関口にトイレや喫煙ルームを配置することは今のところ考えていない。

4. 伊江村学力向上対策について

教育長／「わかる授業」の構築や「基本的生活習慣」を確立する
問 伊江村の学力向上

① 沖縄県において学力向上
対策についてのW e bサイトを利用した算数、数学の小テストを実施するとの新聞報道を見たが、村に對して報告はあつたか。あつたとしたらいつ頃か。

② 県は小テストに取組むことだが、学力向上に対する対応策も必要ではないうかと思つがどうか。沖縄県は算数・数学に特徴があるが、英語に特徴がある。

答 1点目、県からの報告はなかつた。2点目、全国学力上位の秋田県や、高知県等も同様のシス

語・国語の単語力、漢字力も小テストとして採用する方向だと聞いている。世界共通語である英語教育及び国語教育は特に重要な方向だと思つ。英単語や漢字の小テスト等の伊江村としては県に先駆けて実施しては。村当局としては、今後の学力向上の具体的な案があればお聞かせ願いたい。

取組を一層充実させていきたい期待できると思われるの上で、学校現場と話し合いで導入に向けて検討したいたいと思う。3点目、村独自での英単語や漢字の小テストのシステム実施は導入経費、メンテナンスの管理費用等多額の経費が必要となる。県に先駆けての実施は考えていない。教育委員会として、児童生徒一人一人に「確かな学力」を身につけるため、授業以外の取組と合わせて「わかる授業」の構築や「基本的生活習慣」を確立する取組を一層充実

村政の12月定例会 一般質問

2. 伊江村はにくすにの全体計画について



伊江村議会視察・研修報告



●NPO法人南風原町障がい者支援センター 福祉事業所はんどinはんど視察(H26.2.20)

【伊江村議会全議員】

「障がい者に働く場の提供と働く喜び、社会参加と自立性を培う」ことを目的に1996年4月に開所。2011年10月に福祉サービス事業所の指定を受け、就労継続支援B型サービスの提供を始める。焼き菓子や石鹼などの製造販売、リサイクル事業等小売量販店と連携し、支援事業を行っている。施設の概要説明を浦崎直浩所長(阿良区出身)と南風原町議会議員の知念富信議員(東江上区出身)に丁寧に説明いただき、支援事業B型への理解を深めることができた。



▲概要説明をする浦崎所長と施設を視察する議員

●町村議長会議員・事務局研修会(H26.2.20)

【伊江村議会全議員】

南風原町中央公民館にて「平成26年度市町村予算行財政運営の課題」について、「選挙候補者等の寄附及び有料広告等の禁止について(インターネット選挙運動について)」の講演を拝聴した。またRBCラジオの長寿番組「民謡で今日(チュウ)うがなびら」のパーソナリティで琉球歌劇保存会元会長八木政男氏による「うちなーぐちの表現あれこれ」と題し、琉歌の始まりや地名の俗称等うちなーぐちでユニークに語られ、歴史をひもときることの必要性を講演された。

以上の今回の研修を今後の議会活動に活かしていきたい。



▲八木政男氏による「うちなーぐちの表現あれこれ」

米軍のパラシュートが フェンス外へ落下した 現場を視察(H26.1.14)



▲議長と議会運営委員が落下現場を視察



▲米軍が落下した現場の様子

※お詫び

いえん議会広報NO143(P13)の経済・公営企業常任委員会所管事務調査の派遣委員に島袋義範議員の名前がぬけておりました。お詫び申し上げます。

●町村議会広報委員研修会(H26.1.30)

【議会広報特別委員(内田竹保、内間広樹、知念一邦、仲宗根清夫)】

那覇市の自治会館において議会広報研修会が開催され、「『伝わる』作法～議員プレゼン力を磨こう」をテーマに(熊本日日新聞社NIE専門委員)の越地真一郎氏による、伝わる広報誌作りを町村発行の広報誌

を参考にクリニックを行い、手にとり読みやすい広報誌にすることへの講演がなされた。今後とも村民の身近な広報誌になるよう取り組んでいきたい。



▲町村議会広報委員研修会



●離島振興市町議会議員・事務局研修会(H26.2.19)

【伊江村議会全議員】

NPO法人アジアクラブ理事長の緒方修氏による「島民総幸福GISのすすめ～スポーツと文化による離島地域の振興について～」と題し、国民総幸福(GNH)への取り組み先進国、ブータン王国の事例を参考に講

演がなされ、島民総幸福(GIS)との協調性や幸せな社会、豊かな心づくりへの提言がなされた。



▲離島振興市町議会議員・事務局研修会(講師はNPO法人アジアクラブ理事長の緒方 修氏)

